

ダイワ・インド株式オープン － ガンジスの恵み －

運用報告書(全体版) 第28期

(決算日 2023年10月12日)
(作成対象期間 2023年4月13日～2023年10月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2009年12月16日～2024年10月11日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式、店頭登録株式およびDR(預託証券)(上場予定および店頭登録予定を含みます。)
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インド企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組比率	株式 先比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末 (2021年10月12日)	13,743	1,500	23.9	27,822	24.6	94.8	4.1	3,147
25期末 (2022年4月12日)	13,860	800	6.7	30,856	10.9	95.1	3.7	2,920
26期末 (2022年10月12日)	14,722	700	11.3	31,606	2.4	94.8	3.8	3,129
27期末 (2023年4月12日)	13,771	0	△ 6.5	28,710	△ 9.2	93.1	3.8	2,980
28期末 (2023年10月12日)	16,388	1,500	29.9	36,533	27.3	92.9	4.0	3,534

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIインド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

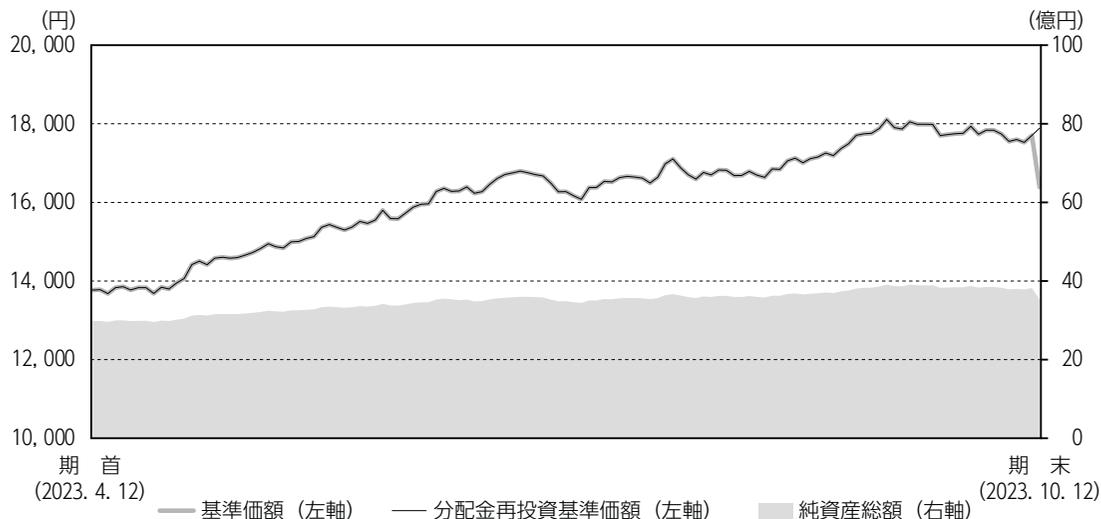
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「MSCIインド指数 (配当込み、円換算)」から「MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,771円

期末：16,388円（分配金1,500円）

騰落率：29.9%（分配金込み）

基準価額の変動要因

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」を通じてインド株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。インド経済の成長期待やRBI（インド準備銀行）の利上げ休止を背景とする株式市況の上昇に加え、インド国債の主要新興国債券指数への組み入れの発表に伴う資金流入期待などを受けたインド・ルピーの対円での上昇（円安）が、プラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		M S C I イ ン ド 指 数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 比 物 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年4月12日	円	%		%	%	%
	13,771	—	28,710	—	93.1	3.8
4月末	14,066	2.1	29,180	1.6	93.3	3.8
5月末	15,363	11.6	31,633	10.2	93.4	3.8
6月末	16,711	21.3	33,953	18.3	94.0	3.7
7月末	16,642	20.8	34,029	18.5	93.8	3.7
8月末	17,257	25.3	35,108	22.3	94.1	3.7
9月末	17,735	28.8	36,003	25.4	93.5	3.7
(期末) 2023年10月12日	17,888	29.9	36,533	27.3	92.9	4.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 4. 13 ~ 2023. 10. 12)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より2023年7月にかけて、インフレ鈍化を背景とするRBI（インド準備銀行）の利上げ休止などが支援材料となり、上昇基調で推移しました。8月は、米国国債の格下げなどから世界的に投資家心理が悪化し、弱含む展開となりました。9月半ばにかけては、2023年4～6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が内需主導の堅調な内容であったことなどを好感して反発したものの、当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通し引き上げなどを背景とする米国長期金利の上昇などを受け、再度弱含む展開となりました。

■為替相場

インド・ルピーは対円で上昇（円安）しました。

インド・ルピーは、当作成期首より2023年6月にかけて、日銀の金融緩和の継続姿勢を背景に円安米ドル高が進行したことから、対円で上昇しました。7月上旬には、日銀の金融緩和修正観測の高まりから円高が進行し、対円で下落しました。当作成期末にかけては、日銀の緩和的な金融政策維持に加えて、インド経済の成長期待やインド国債の主要新興国債券指数への組み入れの発表に伴う資金流入期待などを受け、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

当ファンドでは、インド経済の長期的な成長から恩恵を享受することをめざし、業績の成長力が相対的に高い中小型の企業などにも注目して運用を行ってまいります。

セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 13 ~ 2023. 10. 12)

当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

インド経済の構造変化の中で、高い成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。

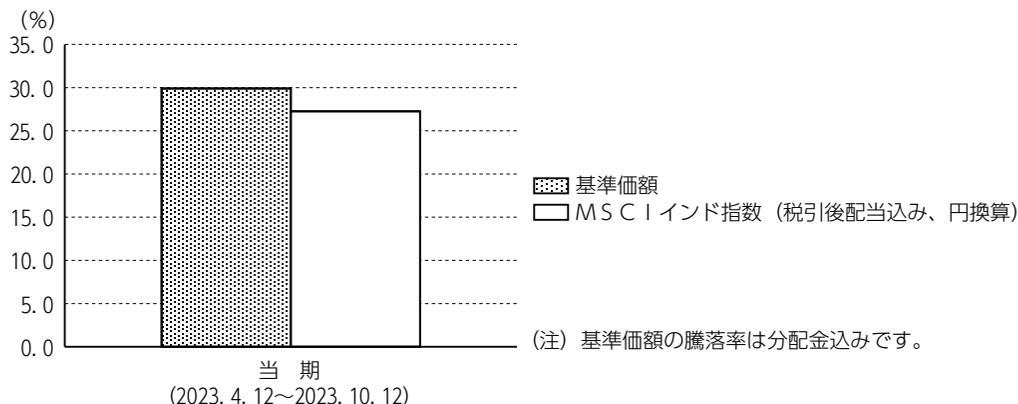
セクターでは、中長期的に貸出残高の増加が期待された銀行などの金融セクターや設備投資拡大の恩恵が期待されたエンジニアリング大手などの資本財・サービスセクターを組入上位としました。

個別銘柄では、広範な支店ネットワークを有し、個人向けローンの拡大に注力する民間銀行大手のHDFC BANK LIMITEDや、インダストリー4.0（第4次産業革命）が事業拡大の追い風になると見込むエンジニアリング大手のABB INDIA LTDなどを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2023年4月13日 ～2023年10月12日	
当期分配金(税込み)	(円)	1,500
対基準価額比率	(%)	8.39
当期の収益	(円)	1,500
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,792

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目		当期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	125.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	2,996.51
(c) 収益調整金		3,316.04
(d) 分配準備積立金		1,854.46
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)		8,292.31
(f) 分配金		1,500.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)		6,792.31

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

当ファンドでは、インド経済の長期的な成長から恩恵を享受することをめざし、業績の成長力が相対的に高い中小型の企業などにも注目して運用を行ってまいります。

セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 4. 13~2023. 10. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	150円	0.924%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,226円です。
(投 信 会 社)	(71)	(0.440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0.440)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	12	0.072	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.070)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
有 価 証 券 取 引 税	5	0.031	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(5)	(0.031)	
そ の 他 費 用	88	0.539	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.061)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(77)	(0.475)	インドキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	254	1.566	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

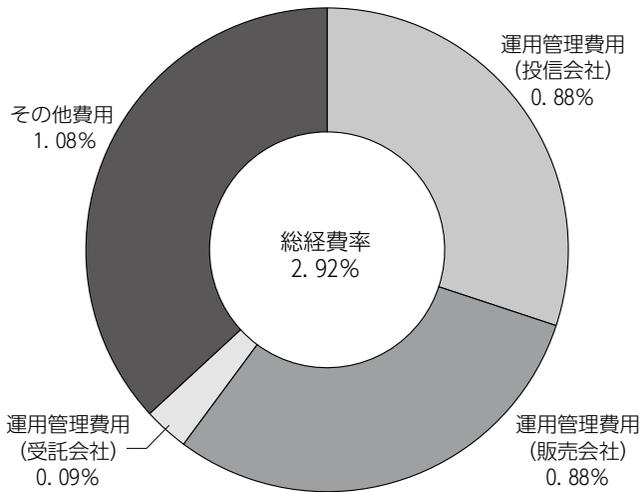
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.92%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年4月13日から2023年10月12日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	21,131	102,300	93,287	470,200

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年4月13日から2023年10月12日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	825,575千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,288,713千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.25

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	□ 数	□ 数	千円
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	740,113	667,957	3,528,553

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	3,528,553	90.5
コール・ローン等、その他	368,428	9.5
投資信託財産総額	3,896,981	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝149.26円、1インド・ルピー＝1.81円、1ユーロ＝158.53円です。

(注3) ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,504,631千円)の投資信託財産総額(3,533,877千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年10月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,896,981,877円
コール・ローン等	363,128,796
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド(評価額)	3,528,553,081
未収入金	5,300,000
(B) 負債	362,213,039
未払収益分配金	323,533,910
未払解約金	6,337,150
未払信託報酬	32,246,094
その他未払費用	95,885
(C) 純資産総額(A-B)	3,534,768,838
元本	2,156,892,738
次期繰越損益金	1,377,876,100
(D) 受益権総口数	2,156,892,738口
1万口当り基準価額(C/D)	16,388円

* 期首における元本額は2,164,383,436円、当作成期間中における追加設定元本額は111,181,623円、同解約元本額は118,672,321円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,388円です。

■損益の状況

当期 自2023年4月13日 至2023年10月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,459円
受取利息	110
支払利息	△ 5,569
(B) 有価証券売買損益	891,420,488
売買益	921,095,146
売買損	△ 29,674,658
(C) 信託報酬等	△ 32,341,979
(D) 当期損益金 (A + B + C)	859,073,050
(E) 前期繰越損益金	214,256,849
(F) 追加信託差損益金	628,080,111
(配当等相当額)	(715,234,430)
(売買損益相当額)	(△ 87,154,319)
(G) 合計 (D + E + F)	1,701,410,010
(H) 収益分配金	△ 323,533,910
次期繰越損益金 (G + H)	1,377,876,100
追加信託差損益金	628,080,111
(配当等相当額)	(715,234,430)
(売買損益相当額)	(△ 87,154,319)
分配準備積立金	749,795,989

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：8,713,935円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,026,844円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	646,315,537
(c) 収益調整金	715,234,430
(d) 分配準備積立金	399,987,518
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,788,564,329
(f) 分配金	323,533,910
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,465,030,419
(h) 受益権総口数	2,156,892,738口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	1,500円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド 運用報告書 第14期 (決算日 2023年10月12日)

(作成対象期間 2022年10月13日～2023年10月12日)

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式、店頭登録株式およびDR（預託証券）（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
株式組入制限	無制限

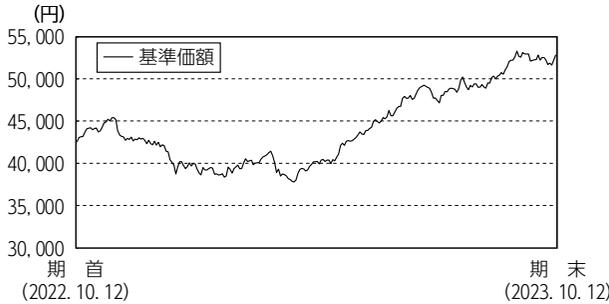
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：42,565円 期末：52,826円 騰落率：24.1%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。株式市況の上昇が主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より2022年11月にかけて、予想を下回る米国CPI（消費者物価指数）を受けた米国の利上げペース鈍化期待を背景に、上昇しました。2023年3月末にかけては、世界的な景気減速懸念やインドの新興財閥であるアダニ・グループの不正会計疑惑、欧米金融機関の信用不安などを背景に軟調に推移しました。9月半ばにかけては、信用不安の後退やRBI（インド準備銀行）の利上げ休止などが支援材料となり、上昇基調で推移しました。当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見直し引き上げなどを背景とする米国長期金利の上昇を受け、弱含む展開となりました。

○為替相場

インド・ルピーは対円で上昇（円安）しました。

インド・ルピーは、当作成期首から2023年1月にかけて、米国の利上げペース鈍化期待や日銀の金融緩和政策の修正観測を背景に円高米ドル安が進行したことから、対円で軟調に推移しました。3月上旬にかけては、米国金利の上昇を受けて円安米ドル高となったことから、ルピーは対円で上昇しました。その後は、欧米金融機関の信用不安を受けて米国金利が低下したことなどから円高米ドル安となり、ルピーは対円で下落しました。当作成期末にかけては、米国金利が上昇基調で推移する中、円安米ドル高が進行したことなどから、ルピーは対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、インド経済の長期的な成長から恩恵を享受することをめざし、業績の成長力が相対的に高い中小型の企業などにも注目を向け、運用を行ってまいります。

セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

インド経済の構造変化の中で、高い成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。

セクターでは、中長期的に貸出残高の増加が期待された銀行などの金融セクターや設備投資拡大の恩恵が期待されたエンジニアリング大手などの資本財・サービスセクターを組入上位としました。

個別銘柄では、広範な支店ネットワークを有し、個人向けローンの拡大に力をつける民間銀行大手のHDFC BANK LIMITED や、インフラストリー4.0（第4次産業革命）が事業拡大の追い風になると見込むエンジニアリング大手のABB INDIA LTDなどを組入上位としました。

年 月 日	基準価額		MSCI インド指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比 率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首)2022年10月12日	42,565	—	32,500	—	95.0	3.8
10月末	44,277	4.0	34,204	5.2	94.2	3.8
11月末	42,876	0.7	33,517	3.1	93.4	3.9
12月末	39,726	△ 6.7	30,726	△ 5.5	92.3	3.9
2023年1月末	38,649	△ 9.2	29,368	△ 9.6	92.9	3.8
2月末	40,066	△ 5.9	29,314	△ 9.8	93.5	3.8
3月末	39,274	△ 7.7	28,532	△ 12.2	93.7	3.8
4月末	41,096	△ 3.5	30,006	△ 7.7	93.5	3.8
5月末	44,971	5.7	32,528	0.1	93.6	3.8
6月末	48,999	15.1	34,914	7.4	94.1	3.7
7月末	48,871	14.8	34,992	7.7	94.0	3.8
8月末	50,760	19.3	36,102	11.1	94.2	3.7
9月末	52,245	22.7	37,022	13.9	93.7	3.7
(期末)2023年10月12日	52,826	24.1	37,567	15.6	93.0	4.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数(税引後配当込み、円換算)は、MSCI Inc. (「MSCI」)の承諾を得て、MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[<https://www.daiwa-am.com.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「MSCIインド指数(配当込み、円換算)」から「MSCIインド指数(税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数はインド株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、インド経済の長期的な成長から恩恵を享受することをめざし、業績の成長力が相対的に高い中小型の企業などにも注目して運用を行ってまいります。

セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

■1万口当りの費用の明細

(2022年10月13日から2023年10月12日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	56円 (54) (2)
有価証券取引税 (株式)	23 (23)
その他費用 (保管費用) (その他)	331 (50) (281)
合 計	410

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2022年10月13日から2023年10月12日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ (百株)	千アメリカ・ドル 100 (196)	百株 524	千アメリカ・ドル 1,111
	インド (百株)	千インド・ルピー 2,993.51 (188.7)	百株 5,227	千インド・ルピー 386,392

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種類別取引状況

(2022年10月13日から2023年10月12日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 株式先物取引	百万円 1,618	百万円 1,610	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2022年10月13日から2023年10月12日まで)

当 期				当 期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS (インド)	150	85,132	567	ABB INDIA LTD (インド)	12.1	87,634	7,242
DIVIS LABORATORIES LTD (インド)	13.9	80,559	5,795	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	22.5	72,015	3,200
SCHAEFFLER INDIA LTD (インド)	13.026	58,313	4,476	INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	27.5	70,288	2,555
TIMKEN INDIA LTD (インド)	9	53,441	5,937	BHARAT FORGE LTD (インド)	28.1	48,376	1,721
TECH MAHINDRA LTD (インド)	23.025	50,238	2,181	DR. REDDY'S LABORATORIES (インド)	5.8	43,469	7,494
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD (インド)	5.5	19,188	3,488	ZYDUS WELLNESS LTD (インド)	13.8	36,156	2,620
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	4.5	13,942	3,098	CREDITACCESS GRAMEEN LTD (インド)	15	34,927	2,328
INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	5.5	13,616	2,475	ALKEM LABORATORIES LTD (インド)	6.4	33,166	5,182
TUBE INVESTMENTS OF INDIA LT (インド)	1.3	6,648	5,113	ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA (インド)	46.1	32,796	711
GREAT EASTERN SHIPPING CO (インド)	6	6,418	1,069	WIPRO LTD (インド)	43	31,728	737

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
ICICI BANK LTD-SPON ADR	462	282	642	95,884	金融
INFOSYS LTD-SP ADR	594	374	658	98,304	情報技術
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	68	44	245	36,711	エネルギー
アメリカ・ドル 株数・金額	1,124	700	1,546	230,900	
通 貨 計 銘柄数<比率>	3銘柄	3銘柄	<6.5%>		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
(インド)					
NUVOCO VISTAS LTD	603.79	509.79	18,640	33,739	素材
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD	508	508	28,430	51,458	一般消費財・サービス
SCHAEFFLER INDIA LTD	—	110.26	34,524	62,488	資本財・サービス
TIMKEN INDIA LTD	—	77	23,561	42,645	資本財・サービス
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND	567.4	515.4	64,924	117,514	金融
ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA	461	—	—	—	金融
ALKEM LABORATORIES LTD	64	—	—	—	ヘルスケア
PAGE INDUSTRIES LTD	6	6	23,708	42,912	一般消費財・サービス
ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	241.82	241.82	38,450	69,595	一般消費財・サービス
PHOENIX MILLS LTD	230.51	211.51	40,700	73,668	不動産
JK CEMENT LTD	77.67	77.67	24,744	44,788	素材
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	110	94	44,686	80,882	資本財・サービス
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	93	129	35,438	64,144	金融
CITY UNION BANK LTD	1,360	—	—	—	金融

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	648.21	584.21	68,051	123,173	素材
COMPUTER AGE MANAGEMENT SERV	104	104	25,117	45,461	資本財・サービス
TEAMLEASE SERVICES LTD	91.42	78.42	20,282	36,710	資本財・サービス
TUBE INVESTMENTS OF INDIA LT	170	138	40,355	73,043	一般消費財・サービス
ZYDUS WELLNESS LTD	138	—	—	—	生活必需品
CREDITACCESS GRAMEEN LTD	406.2	296.2	40,666	73,606	金融
TATA STEEL LTD	2,470	2,321	29,000	52,491	素材
CIPLA LTD	320.22	273.22	32,020	57,956	ヘルスケア
AXIS BANK LTD	780	715	72,865	131,886	金融
FEDERAL BANK LTD	3,200	2,930	43,071	77,958	金融
DLF LTD	680	680	38,440	69,577	不動産
ASHOK LEYLAND LTD	1,982.74	1,982.74	34,965	63,287	資本財・サービス
TITAN CO LTD	141	122	40,022	72,440	一般消費財・サービス
GREAT EASTERN SHIPPING CO	871	761	65,179	117,975	エネルギー
ULTRATECH CEMENT LTD	68	58	48,389	87,584	素材
BHARAT FORGE LTD	832.66	590.66	65,820	119,134	一般消費財・サービス
CUMMINS INDIA LTD	401.79	381.79	66,874	121,042	資本財・サービス
DIVIS LABORATORIES LTD	—	123	46,131	83,498	ヘルスケア
SHREE CEMENT LTD	9	9	23,851	43,170	素材
TECH MAHINDRA LTD	—	230.25	28,357	51,327	情報技術
TVS MOTOR CO LTD	493	453	70,226	127,109	一般消費財・サービス
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	—	1,500	43,582	78,884	金融

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	680	680	32,905	59,558	素材
WIPRO LTD	430	—	—	—	情報技術
LARSEN & TOUBRO LTD	180	156	48,183	87,212	資本財・サービス
DR. REDDY'S LABORATORIES	58	—	—	—	ヘルスケア
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	285.5	—	—	—	金融
HDFC BANK LIMITED	292	689.2	106,109	192,057	金融
ABB INDIA LTD	358.91	237.91	99,574	180,230	資本財・サービス
INDIAN HOTELS CO LTD	2,085.98	1,880.98	78,032	141,238	観光・サービス
インド・ルピー株数、金額	22,500.82	20,456.03	1,685,887	3,051,456	
通貨計銘柄数<比率>	39銘柄	37銘柄		<86.5%>	
ファンド株数、金額	23,624.82	21,156.03		3,282,357	
合計銘柄数<比率>	42銘柄	40銘柄		<93.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国	百万円	百万円
IFSC NIFTY 50 (インド)	142	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月12日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	3,282,357	92.9
コール・ローン等、その他	251,519	7.1
投資信託財産総額	3,533,877	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝149.26円、1インド・ルピー＝1.81円、1ユーロ＝158.53円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (3,504,631千円) の投資信託財産総額 (3,533,877千円) に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年10月12日現在

項目	当期末
(A) 資産	3,533,877,491円
コール・ローン等	202,315,672
株式 (評価額)	3,282,357,625
未収入金	544,501
未収配当金	145,630
差入委託証拠金	48,514,063
(B) 負債	5,300,000
未払解約金	5,300,000
(C) 純資産総額 (A - B)	3,528,577,491
元本	667,957,650
次期繰越損益金	2,860,619,841
(D) 受益権総口数	667,957,650口
1万口当り基準価額 (C / D)	52,826円

* 期首における元本額は733,937,688円、当作成期間中における追加設定元本額は75,630,328円、同解約元本額は141,610,366円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ・インド株式オープン - ガンジスの恵み - 667,957,650円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は52,826円です。

■損益の状況

当期 自2022年10月13日 至2023年10月12日

項目	当	期
(A) 配当等収益		40,254,564円
受取配当金		28,208,385
受取利息		884,438
その他収益金		11,179,974
支払利息	△	18,233
(B) 有価証券売買損益		719,090,039
売買益		795,081,288
売買損	△	75,991,249
(C) 先物取引等損益		12,906,512
取引益		28,556,423
取引損	△	15,649,911
(D) その他費用	△	24,502,252
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)		747,748,863
(F) 前期繰越損益金		2,390,090,940
(G) 解約差損益金	△	530,689,634
(H) 追加信託差損益金		253,469,672
(I) 合計 (E + F + G + H)		2,860,619,841
次期繰越損益金 (I)		2,860,619,841

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。